（一社）日本非破壊検査協会「第 1 回 NDE4.0 シンポジウム」講演募集

開催日：2023 年 10 月 30 日（月）

ICT を活用した遠隔センシングや，AI によるきずの評価，XR（クロスリアリティ）などが非破壊検査に応用されつつあります。また，欧米では NDE4.0(Nondestructive Evaluation 4.0) のスローガンのもとで，シミュレーションモデルと計測データをサイバー空間上で融合したデジタルツインや，IIoT によるデータ交換や共有などの議論が進んでいます。NDE4.0 を日本で実現するためには，従前の非破壊検査に関する技術だけでなく，Industry4.0 や Society5.0 に資する要素技術との融合が欠かせません。つまり，非破壊検査の各技術間に横串を通すだけでは不十分であり，他分野／多分野との情報共有や技術連携が必要です。そこで，当協会では，他分野の研究者・技術者との交流も意図して，NDE4.0 の推進を目的とした国内初のシンポジウム，「第 1 回 NDE4.0 シンポジウム」を開催することと致しました。

非破壊検査分野への参入を模索するベンチャー企業やスタートアップ企業からのシーズやニーズ等のご講演も歓迎します。研究者，技術者におかれましては，本シンポジウムに奮って参加いただき，大いにご議論いただける場となることを期待しております。

会場

亀戸文化センター（カメリアホール）
東京都江東区亀戸 2 丁目 19-1

主催　（一社）日本非破壊検査協会

協賛（依頼中）：土木学会，日本機械学会
後援（依頼中）：日本音響学会，人工知能学会，日本ロボット学会，情報処理学会，電子情報通信学会，日本バーチャルリアリティ学会，日本保全学会，溶接学会，日本溶接協会，レーザー学会，電気学会，電気設備学会，日本素材物性学会，計測自動制御学会，照明学会，エレクトロニクス実装学会，日本原子力学会，日本材料学会，日本計算工学会，日本シミュレーション学会，可視化情報学会，日本非破壊検査工業会，精密工学会，映像情報メディア学会

演題募集

非破壊検査のキーワードに加えて，デジタルトランスフォーメーション（DX）／コンセプトモデル／ロードマップ／ユースケース／ケーススタディ／ VR･AR･MR･SR･XR ／啓発・教育／教材・カリキュラム／デジタルツイン／ 3 次元データ／センシング・モニタリング／データ管理／データ共有・交換／標準化／オープンデータ／ビッグデータ／プラットフォーム／シミュレーション／データ同化／ビジネスモデル／サプライチェーン／ 5G･Wifi HaLow ／ブロックチェーン／人工知能／機械学習／イノベーション／分析・評価・予測／ベンチャー・スタートアップ／ IIoT ／スマート工場／スマートモビリティ／メタバース・遠隔臨場／ UAV ／遠隔計測・自動計測／ Society 5.0 ／システム設計等，非破壊検査の変革に関する事例，構想，計画について，あらゆる時空間を対象として，その完成度を問わず関連する話題を幅広く募集します。

講演申込方法

講演申込時に概要（A4，1 枚）の提出が必要です。
協会ホームページ（http:// www.jsndi.jp/）の「学術活動」→「学術セミナー・シンポジウム」→「第 1 回 NDE4.0 シンポジウム」の“申込要領”，“講演概要のテンプレート”をご覧ください。

申込完了後，確認のご連絡を差し上げます。 受付確認の通知が届かない場合は，ご連絡くださるようお願いします。

講演申込期限　9 月 1 日（金）

発表採択審査

講演申込みをいただいたものは，採択審査を行います。
審査結果は，9 月中旬に通知いたします。
なお，採択以後の講演題目の変更は認められません。

発表方法

多くの方に発表していただけるように，発表方法は 2 通りの方法（「口頭」，「ポスター」）を用意していますが発表方法の希望はできません。発表方法につきましては，採択審査委員会にて決定させていただきます。
（審査結果通知の際に発表方法も合わせて通知します）

講演概要集

講演当日は，申込時に提出いただいた概要を PDF 化して参加者がダウンロードできるようにします（概要集の印刷配付は行いません）。

論文投稿※について

シンポジウム後に，発表内容を充実させて纏めたものを論文として受け付けます。原稿提出〆切は 2023 年 11 月下旬の予定です。査読を経て採択されれば，協会誌「非破壊検査」の特集号（2024 年 7 月号）に掲載されます。

※論文投稿：
本シンポジウムの講演を基に投稿された論文は，種別を萌芽論文として取り扱います。すなわち，内容の将来への発展性を重視し，独創性や新規性が備わっていれば，論文としての完成度や，データ・考察等の充実度が多少不足していても，そのことを厳密には問いません。

※詳細については，当会の「機関誌『非破壊検査』 投稿規則」をご覧ください。（http:// www.jsndi.jp/）の「学術活動」→「機関誌」→「論文投稿について」及び「機関誌の執筆要領」

問合せ先

〒 136-0071　東京都江東区亀戸 2-25-14
立花アネックスビル 10 階
（一社）日本非破壊検査協会　学術部学術課
TEL：03-5609-4015　　E-mail：taikai@jsndi.or.jp

講演

1）講演の言語

言語は，原則として日本語とします。

英語による講演発表（講演原稿・講演発表共に英語）を希望の方は，別途お問い合わせください。

2）登壇者の条件

当会の正会員 , 非会員を問いません。

3）講演時間（口頭）

応募される講演件数により最終決定しますが , 講演時間 12 ～ 15 分（質疑応答 2 ～ 5 分を含む）とする予定です（採択通知の際に講演時間を連絡します）。

4) ポスター発表

A0 サイズのポスターを準備いただきます（採択通知の際に発表方法の詳細を連絡します）。

5）発表証明の交付（「口頭」,「ポスター」）

当初申し込まれた登壇者が講演された場合には，当協会の発表証明書を交付いたします。講演当日の登壇者が既登録者と異なる場合には，発表証明の交付はいたしません。

シンポジウム参加申込方法

聴講申込については，協会ホームページ（http:// www.jsndi.jp/）の「学術活動」→「学術セミナー･シンポジウム」→「第 1 回 NDE4.0 シンポジウム」→「参加受付」からお申込みください。

参加登録料　（消費税込み）

種　別	10/23 迄
正会員	￥4,000
学生会員	￥3,000
協賛・後援団体会員	￥4,000
一般（非会員）	￥8,000
学生（非会員）	￥3,000

＊参加申込期限：10 月 23 日（月）

懇親会

懇親会開催につきましては検討中です。

実施の場合，9 月中旬以降に案内するシンポジウム参加登録案内に掲載します。

講演中及びポスターの撮影

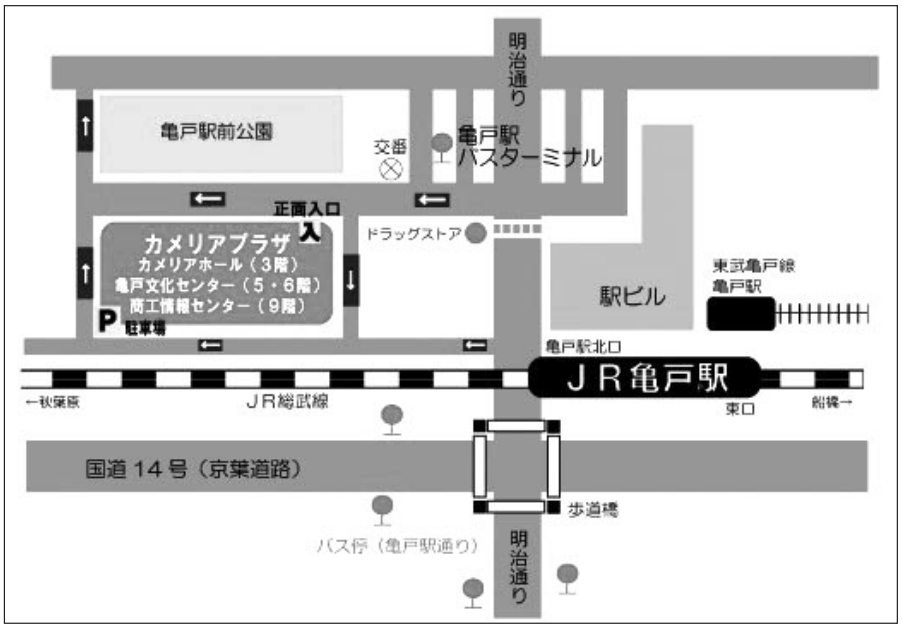
講演中及びポスターに対するカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。撮影される場合は，事前に登壇者の了承を得た上で，登壇前に座長へ申し出るようにお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止への対応

新型コロナウイルスにつきましては，感染症法上「2 類相当」から「5 類」に移行しましたが , 今後も政府自治体の方針を受け感染対策上の措置をお願いする場合があります。最新の情報につきましては，当会ホームページでご確認ください。

【会場案内図】

亀戸文化センター（カメリアホール）



アクセス　・ＪＲ総武線「亀戸」駅 北口より徒歩 2 分

・東武亀戸線「亀戸」駅 より徒歩 2 分